

Yell イール



血液センター広報誌

No.02
2016.Autumn

Donor
Blood
Center
Patient

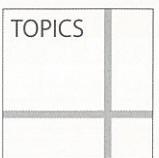


2016.7.29

夏休み親子献血教室(模擬体験)

入澤 水稀さん(小5)

いい体験ができてすごく勉強になりました。血には、いろいろな成分があります。まだ血は人工では作れないで、16才以上の人には、血を必要としている人のために、ご協力お願いします。



TOPICS

1. 献血広場
 - 輸血を受けた患者さんの声
 - 献血者の声
2. 献血推進ポスター完成
3. 第7回親子献血教室開催
4. 献血団体等紹介



献血広場

輸血を受けた患者さんの声



私は6歳のときに再生不良性貧血と診断され、小学4年生のときに初めて輸血を経験しました。貧血のときや血が止まらないときに輸血を頂くことで貧血が解消されたり、血を止めてくれて元気になれました。

今私は19歳です。今までに何度も輸血をしてきました。今こうして生きていられるのは、献血にご協力してくれた方々のおかげです。本当にありがとうございます。

私は献血はできないけれど、その他自分にできることで恩返しをしたいです。

ペンネーム M.O

献血者の声

私は将来医療系ソーシャルワークを目指している学生です。私の大学でも年1回学校に献血車が来ます。そして、多くの学生が献血に協力しています。結局人間を救えるのは、間。今も私たちの血液を必要としている方が大勢います。私は医療系のドラマをよく見るので、やはり手術などをするシーンとかでは多くの血液を必要とされます。私はこんなに苦しんでいる人たちがいるということを忘れず、これからも献血に協力させて頂きたいです。

献血6回目初めての比率献血をしました。何か役に立てないかと思い、始めた献血。少しでも誰かの役に立てているのであれば続けていきたい思います。みなさん優しい方々ばかりでまた来たくなります。

何かの“かんゆう”などたくさんありますが献血だけは、スルーしないで受け止めています。

若い方の献血協力をお待ちしています

若年層の献血状況

2006年10～30代の群馬県内の献血者数は53,517人でした。それから10年後の2015年になると、10～30代の献血者数33,563人と、この10年間で37%も減少てしまいました。

このままのペースで10～30代の献血者数が減っていくと若い世代の人口が減る一方で、輸血を必要とする高齢者の割合はますます増えることから、血液を安定的に供給するためには、今まで以上に若い人たちの献血へのご協力をいただく必要があります。

10～30代の献血者推移(群馬県)

2006年

約5万3千人

2015年

約3万3千人

10年間で

37%
も減少

※このグラフはイメージです

ジャパンラグビートップリーグ3連覇 パナソニックワイルドナイツ

Panasonic WILDKNIGHTS

世界と戦った男達 献血推進ポスター完成



堀江翔太選手 (HO)



山田章仁選手 (WTB)



稻垣啓太選手 (PR)



藤田慶和選手 (WTB/FB)



田中史朗選手 (SH)



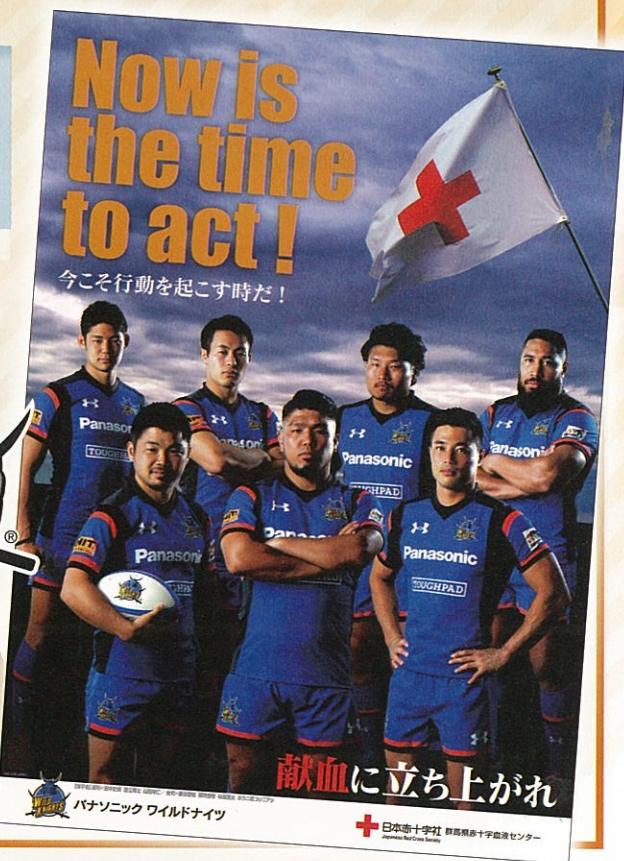
ホラニ龍コリニアシ選手 (NO8)



福岡堅樹選手 (WTB)



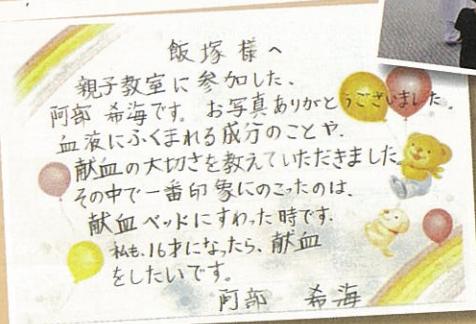
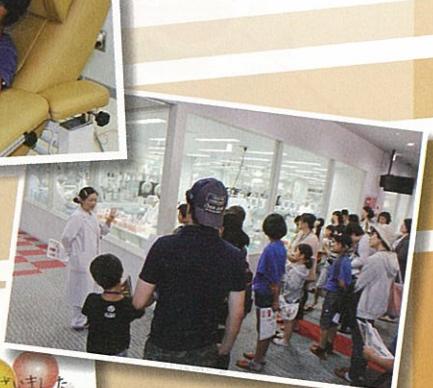
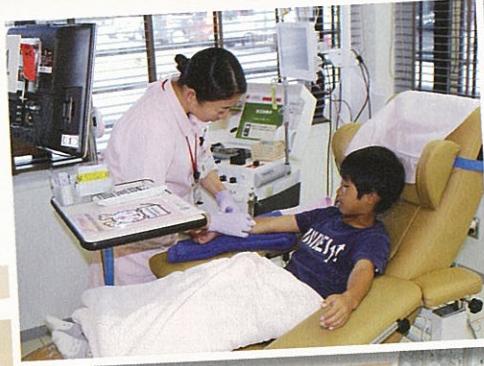
完成
しました



未来の献血者たちが真剣に学ぶ!! 第7回親子献血教室開催

小学校4~6年生を対象に、7月28日(木)、29日(金)の2日間で親子献血教室を開催しました。1日目の前橋コース、2日目の太田コース合わせて20組(44名)の親子の参加があり、両日とも献血ルームで献血模擬体験をした後、埼玉県東松山市にある埼玉製造所で献血された後の血液が輸血用の血液になっていく様子を見学しました。

最後のアンケートには、子どもたちから「16歳になら献血したい」、「血液が赤と黄色に分かれて驚いた」などの感想が多く、また、保護者の方からも「献血の重要性を改めて感じた」、「子どもが16歳になら進んで献血してもらいたい」などの意見が多く寄せられました。参加してくださったみなさん、ありがとうございました。



書籍寄贈 前橋ロータリークラブ



前橋ロータリークラブ(鴻田敦会長)様より社会貢献活動の一環として前橋献血ルームに書籍約1,000冊を寄贈していただきました。

特に若年層献血協力者によろこんでもらうため、若者に人気のある書籍を揃えました。

ご来場の際には、ぜひご覧ください。

企業団体紹介 富士重工業株式会社群馬製作所



富士重工業様は、スバル(SUBARU)ブランドの自動車や航空機などの事業を行っている輸送機器メーカーです。

全工場の社員の方々に、CSR活動として様々な取組を行っている中で、社会貢献活動の一環として昭和41年より50年以上も継続して献血のご協力をいただいております。

毎年、各工場に献血バスを配車し、平成27年度は420名の献血協力がありました。

いつもご協力いただき、ありがとうございます。

次世代を担う
学生献血者
高校生編



勢多農林高等学校



編集・発行

群馬県赤十字血液センター
〒379-2154前橋市天川大島町2-31-13

TEL ● 027-224-2102(献血推進課)
URL ● <http://www.gunma-bc.org>